

Iceross® トランスフェモラル

Iceross トランスフェモラル、懸垂へのアプローチ

Iceross トランスフェモラルでは、吸着式大腿義足の懸垂獲得へのアプローチとその課題を確認した後、異なるアプローチでこの問題の解消を図りました。

①ロール・オン装着法

Icerossでは、下図に見られるようなロール・オン装着を行います。これは、シリコンの弾性力を用い軟部組織をコントロールする考え方です。

引き伸ばされたシリコンは、断端を収納しながら元の形状に戻ろうとするため断端を遠位に軽く引き伸ばし支持性を高めます。これは、吸着式が吸着力を用いて行っていることをシリコンの力により代替していることとなります。



②マトリクス繊維

Icerossには、マトリクスと呼ばれる特殊繊維加工が施されています。マトリクスは懸垂を確実にするため縦方向の伸びを抑え、同時に断端の形状に対応するため横方向の広がり許容するよう設計されています。

マトリクスはロール・オン装着との組み合わせで断端の支持性を大きく高め、良好な懸垂に向く状態を創り出します。

特にIceross トランスフェモラルではマトリクスをライナー全体に配置し、下腿用Icerossでは得られない高い支持性を大腿切断端にもたらしめます。

マトリクスと遠位アタッチメントの組み合わせは、オズール社の特許であり他社製品ではこのような効果は得られません。

※Iceross トランスフェモラル装着断端を引き伸ばしたものです。伸びはほとんど見られません。この効果は、ソフトでマトリクスの短いIcerossコンフォートでは得られないものです。

Iceross トランスフェモラル、懸垂についての課題解決

Iceross トランスフェモラルは断端の容積変化を前提として、懸垂を損なわずにその変化を許容します。

具体的には、断端袋により適合を調整することができます。切断者自身が日断端袋を用いて適合を調整することで、長期間良好な適合を維持できます。

吸着式ソケットの使用が難しい高齢者や虚弱者を対象としていますので、装着方法は教えやすく座位装着も可能です。安全に義足をお使いいただくことができます。

ライナーは石鹸と水で丸洗いが簡単にできますので、長期間衛生的にお使いいただけます。

大腿義足ソケット、装着時の快適性について

大腿切断端の皮膚は、下腿と比較して擦り傷や水ぶくれができやすい敏感な皮膚といえます。

特に、会陰部の皮膚は過敏で傷つきやすく、荷重も受けますので不快感やトラブルが生じやすいといえます。このような大腿部断端に義足装着時の摩擦や剪断力がかかると、快適性を損なうだけでなく、水ぶくれや擦過傷などを容易に引き起こします。



Iceross トランスフェモラル 快適性の獲得

全てのIcerossは硬い外ソケットと断端の間のインターフェース（接触面）となり断端の快適性を高めます。加えて、Iceross トランスフェモラルは大腿切断端特有の性質を理解し、従来の下腿用Icerossとは種類の異なるデルモシル・シリコンを新たに素材としています。

デルモシル・シリコンの特徴は、

- ①ワセリンとアロエヴェラ成分を含んでおり、それらの成分が徐々に滲出し積極的に皮膚をケアします。
- ②シリコンは圧集中の分散や剪断力の緩衝に働きますので、荷重下での快適性が高まります。
- ③皮膚や体毛を過度に引っ張ったりしないよう、シルケンと呼ばれるコーティング処理を内表面に施しています。シルケン加工により皮膚の損傷につながるような力が発生した場合、義足のコントロールを損なわない程度ライナーが皮膚表面を滑り、皮膚を損傷から守ります。